



HARUO OHARA

# 大原治雄写真展

—— ブラジルの光、家族の風景

猫の目の如き天气がざあざあ  
時々灰色の雲が通ると大粒の水滴が落ちる  
太陽にてらされて まっ白い糸が  
天と地をつなぐやうに思える  
(大原治雄日記より)

2016年4月9日(土)~6月12日(日)

高知県立美術館

2016年6月18日(土)~7月18日(月・祝)

伊丹市立美術館

2016年10月22日(土)~12月4日(日)

清里フォトアートミュージアム

## NEWS RELEASE

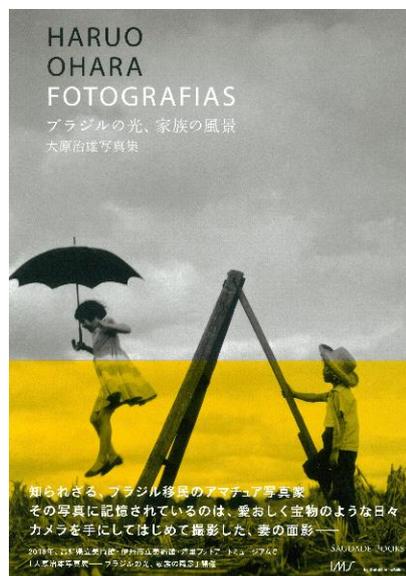
**開催趣旨：**「大原治雄写真展 ―ブラジルの光、家族の風景」は、日系移民としてブラジルへわたり、アマチュア写真家として活動後、ブラジル国内で高い評価を得た“知られざる写真の巨匠”大原治雄の日本で初めての大規模な回顧展となります。過酷な開拓生活の中で、アマチュア写真家として身近な風景をとらえることに歓びを見出した大原の作品は、ブラジル国内で高い評価を得、ブラジル最高峰の写真美術館「モレイラ・サーレス財団」に作品が収蔵される唯一の日本人写真家でもあります。その芸術性に優れた作品群はもちろん、移民としてブラジルへ渡った大原の人生を追体験することにより、多くの日系人たちの歴史をも垣間見ることの出来る貴重な展覧会となります。

大原治雄は、1909年、高知県吾川郡三瀬村（現・いの町）に生まれました。1927年、17歳で父母兄弟らと集団移民としてブラジルに渡り、はじめサンパウロの農園で農場労働者として働き、その後未開拓の地、パラナ州ロンドリーナに最初の開拓者の一人として入植します。28歳の頃に小型カメラを購入し、農作業の合間に趣味で写真を撮るようになります。独自に研究を重ねながら技術を習得し、次第にカメラに没頭していきます。1951年には、サンパウロの「バンデイランテス・フォトシネ・クラブ」に入会。国内外の写真展にも出品するようになります。当時はほとんど無名のアマチュア写真家でしたが、1970年代初頭頃から徐々に知られ始め、地元パラナの新聞などで紹介されるようになります。1998年、「ロンドリーナ国際フェスティバル」で初の個展が開催され、大きな反響を呼びます。その後、「クリチバ市国際写真ビエンナーレ」（パラナ州）に第2回（1998年）、第3回（2000年）と連続で紹介され、高い評価を受けました。

1999年、大原は家族に見守られながら89歳で永眠します。2008年、「日本人ブラジル移民100周年」の記念の年に、遺族によりオリジナルプリント、ネガフィルム、写真用機材、蔵書、日記など一連の資料が、ブラジル屈指の写真美術館でありアーカイブである「モレイラ・サーレス財団」（IMS、Instituto Moreira Salles）に寄贈されました。本展では、IMSのコレクションから、約180点のプリント作品を展覧いたします。遙かブラジルの地に渡り、家族や仲間たちと切り拓き育て上げた広大な農場、そこで働く農民の日常風景、そして愛する家族の姿をこつこつと穏やかに写した大原の写真から、人々の心に存在する普遍的な人間や自然の賛歌を感じていただけることでしょう。

## 大原治雄関連情報：

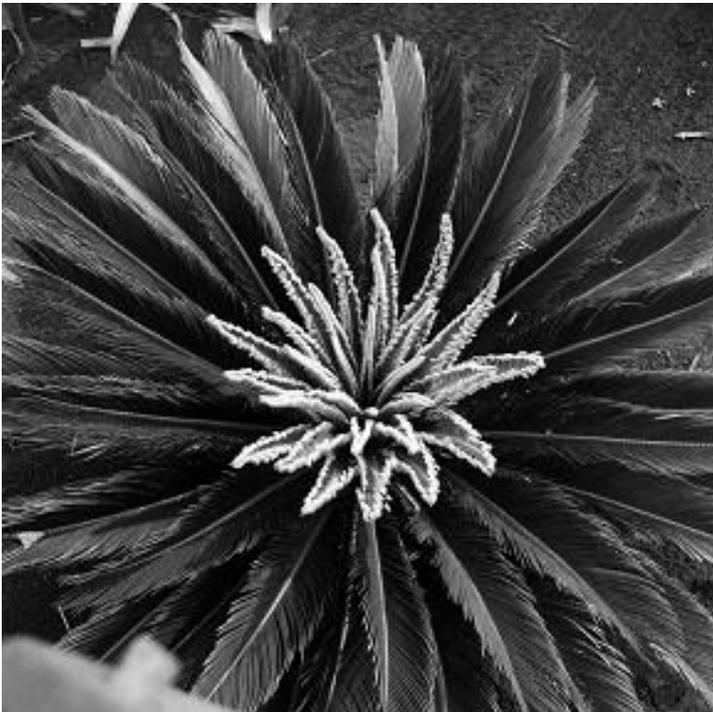
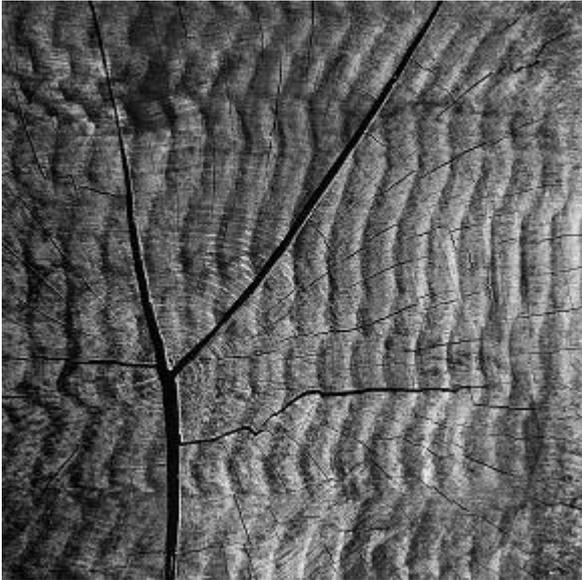
- NHK「日曜美術館」／「大地が育てた写真 ブラジル移民 大原治雄（はるお）」（2016年5月放映）  
NHK 特別番組／「新天地に挑んだ日本人～日本・ブラジル120年～」（2015年11月放映）  
芸術新潮（2016年4月号）、アサヒカメラ（2016年4月増大号）はじめ、多くのマスコミ・メディアにとりあげられ、大きな反響を呼んでいます。
- ブラジルの光、家族の風景―大原治雄写真集／発行：サウダージ・ブックス／（2016年4月9日初版）  
モノクロ写真180点を収録した、日本ではじめての写真集が発行されました。



**NEWS RELEASE**

写真上左：家族の集合写真、1950年頃 パラナ州ロンドリーナ、シャカラ・アララ  
 写真上右：シャカラ・アララの中心地、1950年代 パラナ州ロンドリーナ  
 写真中央左：泥：ブラジル通り、1950年 パラナ州ロンドリーナ  
 写真中央右：真田準の農地、1955年 パラナ州ロンドリーナ  
 写真下左：霜害の後のコーヒー農園、1940年頃 パラナ州ロンドリーナ  
 写真下右：雨後のロンドリーナ駅の操車場、1950年代 パラナ州ロンドリーナ

©Haruo Chara/Instituto Moreira Salles Collections

**NEWS RELEASE**

写真上左：オリジナルなもの、1969年 パラナ州ロンドリーナ

写真上右：渦、1957年 パラナ州ロンドリーナ

写真下左：ソテツ、サン・ジェロニモ通りの家にて、1969年 パラナ州ロンドリーナ

写真下右：抽象：サン・ジェロニモ通りの家にて、1969年頃 パラナ州ロンドリーナ

©Haruo Ohara/Instituto Moreira Salles Collections

\*記載事項は2016年7月現在のものです。内容が変更になる場合もあります。

＜本件に関するお問い合わせ＞

株式会社CONTACT 担当：佐藤正子

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-59-8-503

TEL : 03-3405-5081 FAX : 03-3405-5082

E-Mail [info.contact.tokyo@gmail.com](mailto:info.contact.tokyo@gmail.com) U R L <http://www.contact-tokyo.com>

CONTACTでは、2013年の創立以来、写真展を中心とした、展覧会の企画制作をさせていただいております。また、フランスの写真家ロベール・ドアノーの作品を管理する、アトリエ・ロベール・ドアノーと、日本・韓国での著作権代理業務について独占契約を締結し、さまざまなメディアにドアノー作品を提供しております。